

障連協にゅーす

第 25 号

発行日 2012年1月25日
 編集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 吉田尚弘
 住所 旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 25号目次

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 新年のご挨拶 | 3 平成23年旭川市障害者スポーツ記録大会 |
| 1 障害者週間記念事業 | 4 おびったまつりを終えて |
| 2 道立高等養護学校誘致緊急アピール | 4 編集後記 |

新年のご挨拶



吉田理事長

関係各位におかれまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2011年の一文字を漢字に表すと『絆』という文字になりました。昨年は未曾有の震災に見舞われ、現地の方々は大変な思いの中で新年を迎えられたことと思いますが、遅々として進まない復興計画の中、現地の方々が一番『絆』を感じた年ではなかったでしょうか。

私も理事長に就任し早2年が経とうとしています。関係団体の理事者と様々な案件を検討する中で、それぞれの障害者が抱える問題がまだまだあることを実感している次第です。

また、抱える障害が違うために意見が食い違う場面も度々あります。

しかし、あらゆる問題を解決に導くために必要なことは何かと感ずるのは、政策面であったり資金面であったりしますが、最後には人と人の関わりになるので正に『絆』が重要になると思っております。

私どもが関わる福祉は特に人の関わりが重要となる事柄です。あえて私は“福祉”を“幸福志(ふくし)”という言葉に置き換えてみんなが幸せを目指す。そんな年に出来ればと願っております。

北海道は今厳しい季節を迎えているわけですが、互いに支え合って乗り越えたいと思っております。簡単ではありますが年頭の挨拶とさせていただきます。

旭川障害者連絡協議会 理事長 吉田尚弘

今年度も大盛況！

23年度

障害者週間記念事業



ユニバーサルデザインについて講演する石井雅子さん

■旭川市「障害者週間」記念事業

平成23年12月4日(日) 11:00～16:15

当日はどか雪に見舞われ、大変な朝でしたが約600名の方の来場がありました。

旭川大学・旭川大学短期大学部手話サークル「ド・レベ」の皆さんによる、手話合唱とハンドベル演奏で開幕を飾りました。

工藤フサ実行委員長の開会挨拶、主催者として西川市長、障害者連絡協議会吉田理事長、また来賓として旭川市議会三井議長、旭川市社会福祉協議会酒本事務局長のご挨拶がありました。



西川市長

午後からの記念講演ではテレビリポーター・フリーパーソナリティーの石井雅子さんをお招きして、放送の裏話や、みんなが暮らしやすいカタチ「ユニバーサルデザイン」を広く伝える番組の「u h b 石井ちゃんとゆく」で旭川の福祉関連事業者である泉屋さんを扱った取材などをお話しされました。

旭川市への道立特別支援学校誘致期成会の緊急アピールが期成会会長西川市長より、また「旭川に高等養護学校をつくる会」から高田園子さんが来場者に向け楽しくお話しをされました。

アトラクションは「高田美穂バレエスタジオ」・「J M I A グルーピースイング ジャズオーケストラ」・チアダンス「シャイニーズ」・「梅后流(ばいごりゅう)江戸芸かっぱれ」の方々が華をそえてくれました。

また、旭川市のキャラクター「あさっぴー」やご当地ヒーロー「カムイA(エース)」も駆けつけ子ども達を喜ばせてくれました。

会場後方では、市内の各福祉事業所による手作りの事業所製品展示即売会が行われました。別会場の体験コーナーでは視覚障害者のパソコン機器体験や聴覚障害者の「手話」を学んでみようなども行われました。

悪天候の中、本当にたくさんの方が来られ、大盛況に終わることが出来ました。

この事業に係わった皆様に改めて厚くお礼申し上げます。



あさっぴーとカムイエース



シャイニーズ



高田美穂バレエスタジオ



事業所製品展示即売会

旭川に高等養護学校を！



旭川市への道立特別支援学校誘致期成会による緊急アピール

障害者週間記念事業において、「旭川市への道立特別支援学校誘致期成会」の一同が集まり、会長の西川市長より、緊急アピールが行われました。その後、「旭川市に高等養護学校をつくる会」の高田園子さんからお話をして頂きました。

誘致活動への思い

旭川に近い高等養護学校の受験倍率は高く、落ちた生徒は遠くにある学校に通っています。しかし、予定の変更が苦手な障害を持つ生徒もあり、精神的な負担が大きいです。また、学校に近い地域の生徒が遠くには通えない状況は、道教委の「特別支援教育に関す



高田園子さん

る方針」にある「できる限り身近な地域において指導や支援を受けられる体制を整備し、きめ細やかな教育を推進すること」という考え方に反しています。

親の経済的理由で遠くに通えない、集団が苦手な寄宿舎生活を送れない生徒もあり、不登校または退学せざるを得ないケースが多く、通学型の高等養護学校を望む保護者の声は年々高まっています。

今後は、特別支援教育の基本理念にある通り教育を受ける生徒のニーズに沿った学校を作るべきです。卒業後の就労には経済、教育、医療、福祉などの機関と連携をとり支援できる環境が不可欠です。生徒の将来を見据えた体制がある学校が出来ることを望みます。

(お話の内容の抜粋です)

23年度旭川市障害者スポーツ記録大会

当日は、あいにく曇りでしたが、多くの方々が集まりました。午前10時より開会式が始まり、大会長挨拶は西川市長の代理、旭川市福祉保険部部長岸氏に頂きました。今回の大会の参加者数は例年と同じ、選手・スタッフ・ボランティアを含め全体で320名でした。

変更点としてゴロ卓球バレーを公開競技として行いました。サウンドテーブルテニスをベースに座位で3名対3名で行うので視力障害者にとって参加しやすい競技だと思います。またサウンドテーブルテニスのノーマスクを廃止しアイマスクのみとなりました。そして新しく、2年連続優勝した者あるいはチームは次年度からエントリーを遠慮してもらう規定ができました。但しチームの場合は選手のメンバーが1名でも変更すれば参加可能です。

競技内訳は水泳競技33名、卓球競技17名、サウンドテーブルテニス(STT)競技6名、ボッチャ競技24組(72名)、ゴロ卓球バレー4組(12名)、フライングディスク競技は午後からの他の競技終了者を含め71名でした。

水泳競技では水泳100メートルリレーでは横一直線に並び熱戦が繰り広げられ、体育館競技では卓球競技はベテランの活躍が目立ち、フライングディスク競技は昨年より多くの参加者があり、10点満点中、最高の10点満点の方もいらっしゃいました。またボッチャ競技ではメンバーは違いますが昨年に引き続き、旭川美景園が優勝しました。

参加された選手の皆様、お疲れ様でした。またスタッフの皆様、ボランティアの皆様、ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

■ サウンド・テーブル・テニス

優 勝		矢田部 知子
準 優 勝		加藤 智津子
3 位		加藤 健二

■ 卓球 一般の部

優 勝		芳野 博子
準 優 勝		西 敏幸
3 位		池田 博道

■ ボッチャの部 (3人～6人1チーム編成)

優 勝		畠中 篤、富樫 祐介、川村 光章 (旭川美景園Aチーム)
準 優 勝		高津 修、佐伯 忠光、佐伯 ふじ子 (旭川リハビリ友の会Cチーム)
3 位		及川 満、深田 清三、大山 嘉孝 (旭川車イスの会チーム)

■ ゴロ卓球バレー (公開競技)

優 勝		棟方 勲、木村 貴男、高橋 登美子 (旭川盲人福祉協会Aチーム)
準 優 勝		田中 倫子、麻生 道弘、新堀 清志 (旭川視力障害者福祉協会)
3 位		長尾 宏子、村瀬 稔幸、前田 良則 (旭川盲人福祉協会Bチーム)

■ フライングディスク男子の部

優 勝		菊田 祥吾
準 優 勝		佐藤 芳高
3 位		藤井 のぼる

■ フライングディスク女子の部

優 勝		吉田 英子
準 優 勝		斉藤 留美
3 位		菅原 明美

■ 水泳100メートルリレー (25m×4名)

優 勝	...	山名 涼太、荒川 直樹、高田 弘毅 浅井 佑太 (旭川AフレンズAチーム)
準 優 勝	...	勝原 正晃、柳澤 敏郎、鈴木 皓正 太田 浩史 (あかしあ水泳サークル)
3 位	...	寺田 圭吾、宮腰 卓也、安井 和弘 隠岐 義人 (混合Aチーム)

■ 平成23年度旭川市障害者スポーツ記録大会

と き：平成23年11月13日(日) 10:00～16:00

と こ ろ：旭川市障害者福祉センター「おびった」
体育館・水浴訓練室他

主 催：旭川市

事業実施者：NPO法人旭川障害者連絡協議会



卓 球



フライングディスク



ボッチャの部

そべぽーぽーWITH
まーさん堂

編集 後記

報部員がそれぞれの活動の合間を縫って、通院や体調を整えながら、編集会議に参加しています。今年も障連協の動きが伝わるような、そして読んで下さる皆さんとの絆もより深まるような“にゅーす”づくりをしていきます。

どうぞよろしくお願いします。 K K